

第2回 日吉台小学校第二方面校開校準備部会会議録	
日 時	平成28年12月12日(月)15時30分～17時15分
開 催 場 所	日吉台小学校 家庭科室
出 席 者 (26名)	小島部会長、大谷副部会長、片野副部会長、佐藤副部会長、白鳥委員、小野委員、足立委員、鬼崎委員、牧委員、小嶋委員、長友委員、増淵委員、林委員、塚田委員、加藤委員、山本委員、鈴木委員、尾花委員、遠藤委員、関根委員、石坂委員、荻原委員、大森委員、佐治委員、高橋委員、村上委員
欠 席 者 (2名)	京盛委員、内山委員
開 催 形 態	公開(傍聴者4人)
議 題	1 日吉台小学校第二方面校(仮称)の通学区域について 2 中学校の通学区域について 3 学校名案の選定方法について
決 定 事 項	1 小学校の通学区域については案6を、中学校の通学区域については事務局から提示された案を基本に会議を進めることとし、次回の部会で各所属団体から出た意見をふまえ決定する。 2 学校名案の選定方法については、公募方式とする。アンケート用紙は関係4小学校の児童には学校を通じて、関係4小学校の通学区域にお住まいの方には、第2回開校準備部会ニュースに挟み込んで配布し、次回、応募結果を参考にして学校名案を決定する。
議 事	<p>(1) 日吉台小学校第二方面校(仮称)の通学区域について</p> <p>(事務局) 通学区域案について、前回4案をお示ししましたが、前回の部会以降、事務局に寄せられたご意見を踏まえ、追加で2案を作成しましたのでご説明します。</p> <p>(追加の通学区域案について説明)</p> <p>(部会長) ただいま事務局から、第1回部会開催後に地域等からいただいたご意見を踏まえ、2つの通学区域案の説明がありました。前回の会議では、事務局が提示した新設校の通学区域案を持ち帰って各団体で話し合っていたので、今回、議論することになっていたと思いますので、事務局から示された追加の通学区域案も含め、議論していきたいと思います。それでは、ご意見やご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(委 員) 前回なかった第5案と第6案なんですけれども、自治会としては、第6案がいいのではないかと思います。一番大切なのは学校と子どもたちなので。やはりPTAのお母様や学校の意見というのは重要ではないかと町会としては思いますので、校長先生やPTAもいらっしゃっていますので</p>

そちらの意見を聞いていただいて、検討していただければと思います。

(部会長) それでは、矢上小学校の校長先生、お願いします。

(委員) 最初に出された案ですと矢上小学校がパンクするというので、それを考慮いただきました。当初は第5案のことも考えましたが、これだと矢上小学校が小さくなってしまってバランスが悪くなりますので第6案がいいと思います。この案ですと保護者の要望もある程度叶えることができるし、矢上小学校の児童数の激減も緩和できます。矢上小学校の適正規模が保てるだろうということで、この第6案でやらせていただければありがたいなと思っております。

(部会長) PTAさんいかがでしょうか。

(委員) PTAも全家庭に聞いたわけではないのですが、役員その他、近い人たちに聞きまして、校長先生のおっしゃるとおりの意見となりました。日吉七丁目全体ではないのかという話もあったのですが、児童数が激減してしまうということもありまして、この縦のラインで切るというふうにさせていただきました。

(部会長) わかりました。ほかにご意見ご質問ありますでしょうか。

(委員) 小学校に通っている保護者から意見を頂戴しましたので、それをそのままお読みします。矢上小学校に通われている保護者の方からは、日吉六丁目、七丁目から矢上小学校まで遠い。雨の日はさらに通学時間がかかり、30分ほどかかる。新設校の方が近くて安全です。登校時、学校手前の横断歩道をほぼ全校児童が通過することから足止めされ、30分以上、重いランドセルを背負ってそこで待っていないてはならない。場所によっては中学校まで遠いので、中学校こそ考えてほしい、というご意見を。日吉台小学校に通われている保護者の方からは、日吉七丁目は歩道が狭く、日大の生徒たちと交差して非常に危険。学校が近くなるので大変楽しみにしている、というご意見をいただきました。本日、案が2つ提案されましたけれども、この時点では案2が良いのではないかとご意見を頂戴しました。

(委員) 綱島東四丁目に通われている保護者の方から、ご意見をいただいて来ています。綱島東小学校に通うほうが圧倒的に近いという保護者の方がたくさんいらっしゃいます。通学路がどうなるかまだ分かりませんが、危

ない道を通っていくのではないかと、その辺を懸念されている保護者の方が多数いらっしゃるようです。それから、この数字を見ていると、お子様やその保護者の方の気持ちが全く入らない、ただ箱の中に人数を入れるだけのようなところを一番気にされています。

状況はわかっている、致し方ないことなのですが、ここに気持ちが入っていないというところがいやだという意見も伺っています。その辺をお考えいただけたらありがたいなと思っています。

(委員) 子供会の会長さんが意見をまとめたということで、ご紹介します。選択制になると悩んでしまうのでは。どちらの学校を選んでも学校までの距離は遠く感じる。同じマンションで暮らしている子供たちが異なる小学校に通うことに違和感がある。せっかく同じ町内会に住み、仲良く過ごしているのに、ばらばらになるのはさみしいのでは。兄弟が通っていた綱島東小学校に親しみがある。新一年生の登校班への編成が難しくなるのでは。子供会としての存続がさらに不安定になるのでは。防災面で協力するうえで、連携不足にならないか。中には選択制でもいいのかという方もいました。概ねの意見は、そのまま綱島東小学校に通学を希望するというものでございました。

(部会長) はい。ありがとうございます。綱島地区全体の考え方について、綱島東小学校の校長先生、ご意見ございますでしょうか。

(委員) 感情的な部分などもあるかと思いますが、本校の実情を考えますと、四丁目はすべて含まれるということで考えていただきたいと思います。特別調整通学区域につきましては、学校の運営を考えると、1つの地区に2つの学校があるのは、厳しいところがあると思っています。また、新しい学校の良さというところもあるかと。開校すれば第1期ということで何から何まで作らなければならない部分はありますが、逆に自分たちが歴史を作るんだという意気込みもあるということを知ることがあります。本校としては、固定した学区を決めていただきたいと思います。

(部会長) ほかに、質問ご意見ございますでしょうか。

それでは、箕輪町一丁目の考え方について、箕輪町の町内会長として意見を述べさせていただきます。歩道が非常に狭く、50センチくらいしかないところを、毎日200人以上が歩いているような現状を少しでも緩和するために、一丁目の南側を新設校の学区に入れさせていただきたい。もう一つ、二丁目で綱島街道を横断する地域も新設校のほうに入れてい

ただきたいという要望をしております。

(委員) 箕輪町二丁目が入っていない綱島街道の西側ですが、安全の意味で外されていると思うのですが、できましたら学校へもわずか5～6分で行けますから、二丁目はすべて入れるということをお願いしたいと思います。

(事務局) さまざまなご意見をいただきましたが、兄弟姉妹で学校がわかれてしまうということをご心配になられるのは当然のことかと思えます。その場合につきましては、指定地区外就学許可制度により、個々のご家庭の事情を学校長にご相談いただいて、要件に該当する場合には通学区域以外に通うことができるとしていますので、しっかり対応していきたいと考えております。ただ、新しい学校の通学区域の中のお子さんに関しては、新しい学校に行っていただくことが原則という点をご理解いただきたいと思います。また、最後に出ました箕輪町二丁目の綱島街道の左側も入れてほしいというご意見ですが、やはりどこかで線を引く必要がありますので、非常に交通量が多い綱島街道が良いのではと事務局でご提案しています。この部分も含めて、皆さんでご議論いただければと考えています。本日はなるべく案をまとめていただければと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(部会長) ほかに、ご質問ございますでしょうか。

(委員) 先ほど、矢上小学校の学級数が激減するのは検討されているというお話がありました。平成32年度で日吉台小学校が激減するように数字としては見えるのですが、ここはどのような対策が取られるのでしょうか。

(事務局) 日吉台小学校については、開校の直前が22学級707人で、開校後に470人まで落ちるということが、ご心配ということでしょうか。これは、地域等から通学時間帯に非常に危険なところがあるので、近い部分については入れてほしいというご要望を最大限踏まえ、案として通学区域が広がったことが、学級規模の変化に表れていると思います。学級数としては16学級ということで、適正規模の範囲内にはあります。適正規模の範囲で500人程度。学校の敷地面積が6,900㎡ということを考えますと、これくらいの規模でも適正の範囲なのではないかと、我々としては見ているのですが、この部分は校長先生が学校運営という点で一番ご理解されていると思いますのでご意見をいただければと思います。

(委員) 16学級ということで、私も少なくなると思いますが、全体のバランスを考えなければいけないと思います。日吉台小学校だけのことでなく、全体のことを考えたときに、第6案の区分けというのは、良いのではないかと思います。少なくはなりますが、引き続き、十分な教育ができていくのかなと思います。

(部会長) ほかにはございませんでしょうか。  
それでは、ただいまの議論の結果を踏まえて、日吉台小学校第二方面校の通学区域案は案6とすることよろしいでしょうか。

(委員) 良いと思いますが、みんなに、一度確認しないと。

(委員) このあと「こんな案も出ました」と話し合うのでしょうか。  
それとも、決まった結果として出すのでしょうか。

(部会長) 最終決定ということではなく、案6を基本として今後の会議を進めていきたいということではいかがでしょうか。よろしいですか。

(委員) 異議なし

(部会長) それでは、ご異議ないようですので、案6を基本として今後の会議を進めてまいります。よろしく申し上げます。

それでは、次に、中学校の通学区域についてに移りたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

## (2) 中学校の通学区域について

(事務局) 中学校の通学区域について、ただいま追加で資料を配付させていただきます。

(追加資料配付)

新設校の開校に合わせて、綱島東四丁目を日吉台中学校の通学区域に変更し、特別調整通学区域を設定することで、日吉台中学校と樽町中学校から通学する学校を選択できるようにする案を説明。

(部会長) ただいま事務局から、説明がありました。  
ご意見やご質問等がありましたらお願いします。

(委員) 意見ではなく確認させていただきたいのですが、この特別調整通学区域、選択できる区域というのは、平成 32 年 4 月以降ずっとという解釈でよろしいでしょうか。

(事務局) 特別調整通学区域については、年限を設けておりません。例えば、傾向的に片方の中学校に 100%行く場合や、地域から設定を外してほしいというようなご要望があれば、そのように対応をしますが、今回の事務局の案としては年限を設けず選択できるということになります。

(部会長) ほかにご意見ご質問ございますでしょうか。  
日吉台中学校の校長先生、いかがでしょうか。

(委員) 樽町中学校も日吉台中学校も数がかなり増えていって、適正規模からは、難しい状況です。数が増えるのは致し方ないですので、学区が決まれば受け入れて教育を行います。教育の質というものを担保していくこと、学区内の方への教育保証ということを考えますと、指定地区外就学は厳しい状況になるかと思えます。

(部会長) ありがとうございます。樽町中学校の校長先生、いかがでしょうか。

(委員) 日吉台中学校の校長先生も言っておられましたが、樽町中学校も日吉台中学校も生徒が当面減らないことが予想されます。そのなかでとにかく、教職員は地域の子供たちをどう育ていこうかということしか考えていません。学区の線引きをされてしまうと今までの繋がりが消えてしまうのですが、特別調整通学区域というのは良い考え方だと思います。

(部会長) ほかにご質問ありますか。

(委員) 昭和 51 年当時は、綱島東四丁目の子は日吉台中学校に行っていたという歴史もありますので、ここを特別調整通学区域にするのは全然問題ないと思います。新しい小学校に近い家の方は日吉台中学校のほうが近いので良いのではないかなと思います。

(部会長) ありがとうございます。ほかには、ないでしょうか。  
それでは、ご意見ご質問ないようですので、新設校の中学校の通学区域については、事務局からの説明のとおり、日吉台中学校の通学区域とすることでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(部会長) よろしいですか。ありがとうございます。  
では、そのようにさせていただきます。

(委員) もう一回確認させていただきたいのですが、先ほどの第6案で決定というのは案として決定ということで、これを持ち帰って、もう一度こちらで、各団体で再考なり話し合いをする時間というのは頂けるのでしょうか。

(事務局) 小学校は案6を基本に、中学校についても今回の資料を基本という確認をさせていただきました。次回の第3回で最終的には、最終案を確認していただければと思いますので、そのように理解をしていただければと思います。

(委員) 先ほどの第6案にしても中学校の通学区域にしても今日初めて出てきました。そのままこの方針で決まりましたとニュースで周知されると、どうということなのかという意見が出かねません。一度意見をくみ取るだけの時間をいただければと思うのですがいかがでしょうか。いきなりこれで決まりましたというものを保護者が受け取るよりは、こういう案が出たので、もう一度各団体で話し合う時間を設けた上で決定していただければ、各団体に話しやすいので、ご検討いただければと思います。

(事務局) 説明が不十分で大変失礼いたしました。

本日は小学校の通学区域については案6とすることを基本に確認いただきました。また、中学校の通学区域につきましても、今回の案で確認をいただいたということ、ニュースでもお知らせします。次回、最終的に確認を取るということで、期間を十分に設けて第3回を開催しようと思っております。次回の第3回に最終的に決定するというので、もう一度議論をするという場を設けさせていただきます。

(部会長) それでは次の議題3に移らせていただきます。学校名案の選定方法についてに移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

### (3) 学校名案の選定方法について

(事務局) 学校名案を公募する「公募方式」、開校準備部会のなかで学校名案を決める「開校準備部会方式」について説明。

(部会長) ただいま事務局から学校名案の選定方法について説明がありました。  
ご意見ご質問等があればお願いいたします。

(委員) 部会で名前を付けてしまうと、あとから意見があった時に対応できない  
と思いますので、私は公募が良いと思います。

(部会長) ほかにご意見はございますでしょうか。

ただいま、公募がよろしいというご意見が出ました。公募方式でも関係  
校の児童から公募、通学区域の住民から公募、関係校の児童および通学  
区域の住民から公募、と3つの方法がありますが、皆さんはどうい  
うご意見をお持ちでしょうか。

(委員) 幅広くという意味では、関係児童および通学区域の住民からという、こ  
の3つ目がいいと感じました。

(委員) 確認なのですが、関係校の児童というのは、新しい学校に通う地域の子  
どもたちだけなのでしょうか。それとも例えば、綱島東小学校の全員、  
日吉台小学校の全員などということなのでしょうか。どちらになります  
か。

(事務局) 事務局としては、日吉台小学校、矢上小学校、日吉南小学校、綱島東小  
学校の4つの小学校の子どもたちと、ニュースをお配りさせていただ  
いている地域全域で募集をさせていただければ、一番広がるかなと考  
えております。そのような形ではいかがでしょうか。

(委員) 学校というのは地域との関わりがとても深くなります。私としては、通  
学区域の住民、やはり地域というものを考えていただいたほうが良いの  
ではないかと思います。

(部会長) ほかにご意見ございますでしょうか。

ないようですので、皆さんのご意見を踏まえ、学校名の選定方法につ  
いては公募方式としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(部会長) それでは、学校名の選定方法は公募方式とします。公募にあたり流れな  
どについて事務局から説明をお願いします。



(事務局) 関係する4つの小学校の児童については、アンケート用紙を学校側からお配りいただいて、子どもたちに書いてもらいたいと思います。地域の方は、ニュースの中にアンケート用紙を入れさせていただいて、我々宛てにメールやファックス、あるいは郵送でお送りいただき、集計させていただきます。その結果を報告させていただき、新しい学校の名前はこういったものが良いのかということをお次回、皆さんでご議論いただいて決めていくという流れで考えています。

(部会長) ただいま学校名募集のアンケート用紙案等について、事務局から説明がありました。ご意見ありましたら、お願いいたします。

(委員) 日吉の名前を強調して日吉小学校と付けた場合ですが、川崎に同名の小学校があります。市を跨いで同名の名前がある学校もダメなんですよ。

(事務局) かなり離れている都道府県であればいいのですが、川崎市は横浜市と隣接しているということもありますので、できましたらそういった名前は避けたほうが良いと思います。

(部会長) ほかにご意見ご質問ございますでしょうか。

(委員) 通学区域を6案で進めていくということですが、一番先に考えなければいけないのは子どもが安全に学校に行かれるかということなんですよ。多少遠くても安全に行かれる学校が一番と私は思っています。この地域は道が狭いです。この学校は危ないところに作られるということも踏まえて、お考えいただきたいなと思っています。

(事務局) 新しい学校ができますと通学路を決める作業が必要になります。どのような道を行けばいいのかを、校長先生とご相談させていただきながら、関係する学校の校外委員の方や、PTAの皆さん、地域の皆さんと、実際に新設校の通学区域として想定される部分を行っていただきます。我々も一緒に歩きます。実際に歩いていただいて、危険がある部分については、港北区役所や港北警察署に要望書として提出します。そちらはおそらく4回目以降になるかと思っておりますので、随時ご説明をさせていただければと思います。

(部会長) ほかに。はい、どうぞ。

	<p>(委員) 全体を通してのことですけれども、平成 28 年度から 34 年度まで小学生がこの地域で 770 名増えます。その 6 年後を考えてみたら、私立中学校に 3 割行ったとしても、平均して、550 名の生徒が 2 校の中学校で増えることとなります。12 年後のことですけれども、中学校のことについても検討を始めていただきたいと思います。</p> <p>(事務局) 地域から、中学校を作ってほしいという要望は過去にも出されておりますので我々も重く受け止めなければならないと思っております。しかしながら、日吉台中学校と樽町中学校につきましては、現時点では 2 校で受け入れられるという状況ですので、その点をご理解いただければと思います。</p> <p>(部会長) ほかにご質問ございますでしょうか。 それではないようですので、学校名案募集のアンケート用紙を活用することといたします。なお、関係 4 小学校の児童には学校を通じて配布し、関係 4 小学校の通学区域にお住まいの住民の皆様には、通学区域を対象に第 2 回開校準備部会ニュースに挟み込んで配布いたします。次回の開校準備部会は学校名の応募結果を参考に学校名を検討したいと思います。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料  (1) 次第  (2) 席次表  (3) 第 1 回会議録  (4) 開校準備部会ニュース (第 1 号)  (5) 事務局に寄せられたご意見・ご要望について  (6) 第 2 回日吉台小学校第二方面校開校準備部会 【議事資料】  (7) 中学校の通学区域について 【追加議事資料】</p> <p>2 特記事項  次回は、平成 29 年 3 月 6 日 (月) 15 時半から開催予定。  開催場所は、日吉台小学校。</p>